

自転車でスマホ 危険！

桜台高 愛知工科大特任教授訴え



特殊装置を着け、自転車に乗りながらスマホを操作して視線計測の体験をする鵜飼さん＝南区の桜台高で

自転車の運転中にスマートフォンを操作する「ながらスマホ」の根絶を目指した交通安全講習会が十日、南区霞町の桜台高校で開かれた。愛知工科大の小塚一宏特任教授（交通工学）が講師として訪れ、生徒たちに危険性を訴えた。

今春入学した一年生三百六十人を対象に同校と南署が共同で企画。生徒二人に視線の動きを計測する装置を付け、歩行者役の生徒が行き交う体育館でスマホを操作しながら運転してもらった。

小塚教授は計測した視線の動きを動画で上映し、「運転中でもスマホの画面に視線が集中しているのが分かる。前方に視線を向け

ることもあるが、左右を注意することはなく、危険の回避ができなくなる」と解説。生徒たちはうなずきながら見入っていた。

生徒代表として体験した鵜飼祥吾さん（二毛）は「スマホを見ながら運転したら、歩行者に気づくのが遅れて、肩に当たってしまった。思った以上に危険なのだと分かった」と話している。（武藤周吉）